

環境県民フォーラムだよ！り

VOL. 34 2014年10月1日 発行



平成 26 年度総会を開催しました！

平成 26 年 4 月 22 日、奈良県文化会館で平成 26 年度奈良県環境県民フォーラム総会が開催されました。総会では、楠下代表が議長となり、各地域で活発に活動されている組織が奈良県環境県民フォーラムのネットワークで更に連携して取り組み、より効果的な活動になるよう推進して行きたい旨の挨拶がありました。また、来賓として奈良県くらし創造部景観・環境局次長 栢田斉志様からフォーラムの活動について、奈良県環境総合計画の施策に対して「参加と協働による環境保全への取り組み」を推進していく旨のご挨拶がありました。設立後 17 年目を迎える環境県民フォーラムの活動がますます重要となっていることがうかがえます。またフォーラムの運営を担っていただいている環境政策課の中川貴善課長様、山本直子課長補佐様を紹介しました。次に昨年度の事業報告、会計報告、監査報告の後、10人委員会委員等の改選と本年度の事業計画・予算が審議され、承認されました。なお、学識経験者として奈良教育大学特任教授の松村佳子様、奈良女子大学名誉教授の大石正様にもご出席いただきました。

全体

全国環境月間での環境の日街頭キャンペーンへの参加（6月）
機関紙「環境県民フォーラムだよ！り」の発行（年2回）
エコなーらライフ宣言（ダイエット CO2）事業の推進

エネルギー分科会

エコなーらライフ宣言（ダイエット CO2）事業の推進
エコクッキングなどエネルギー教育等の開催
地球温暖化問題への意識啓発を図る環境講演会の開催

エコライフ分科会

生活排水の汚染負荷の減少を目指した河川浄化への啓発
地域が育む川づくりの推進～万葉のふる里・飛鳥川に学ぶ

自然環境分科会

自然体験活動や環境教育に関心を持つ方を対象に自然環境セミナー開催
自然観察会やネイチャーゲーム等の自然体験教室の開催
菜の花プロジェクト、なら橋プロジェクトの推進

資源活用分科会

環境にやさしい買い物キャンペーンの推進：レジ袋有料化への取り組み
ごみの削減、再使用の推進、リサイクル最新技術の調査などエコ見学会の実施
修理屋リストの活用により、リユースを促進し、修理（リペア）の普及を図る
他の関係機関との連携による事業の実施：3R、CO2削減、資源活用、リサイクル等について奈良県廃棄物対策課との協働も含めて取り組む



楠下代表



栢田次長



総会后、各分科会からの話題提供による交流会を開催しました。各分科会共に興味のある取り組みの紹介が続き、あらためてフォーラムの活動として各分野にわたり幅広い活動が展開されている事をお互いに知り合い、普段情報交流の少ないメンバー間の交流を行う事が出来ました。

また、市民生活協同組合ならコープでは米粉入り食パンになーらちゃんのマークを使用し、二酸化炭素の排出削減を PR していただいております。売上の一部を環境基金としてフォーラム宛に提供していただいております。このパンと橋プロジェクトの橋茶を提供していただき参加者一同楽しい交流会になりました。（代表委員 楠下孝雄）

エネルギー分科会

「鍋帽子」の効用



7月12日(土)、近鉄学園前の北側にある大阪ガスクッキングスクールで、料理講習の前に鍋帽子についてプレゼンテーションを行いました。対象は料理講習に参加していた、20~30代の24人(男女それぞれ12人)のこれから家庭を持っていくであろう人たちでした。「奈良友の会」から2人の先生が若い人たち向けに楽しく講習をしていただきました。一度加熱した鍋に鍋帽子をかぶせておくと、あ〜ら不思議。いつの間にかおいしいおかずが出来上がります。電気ガスの節約になり、地球温暖化の原因である二酸化炭素の削減にもなります。鍋のそばにいる必要もありません。こんな便利な保温調理道具について、男性陣より女性陣のほうが大変興味をもたれていました。機会があれば、料理も一緒に作っていただければと思います。



7/12(土) クッキングスクール

また、8/2日(土)、奈良県新公会堂で行われた奈良県「環境を考える」シンポジウムで他の分科会さんと一緒にパネル展示を行いました。内容としては「台所でできるCO2削減」・「鍋帽子の効用」についてです。女性の方がやはり興味をもたれ、質問されていました。環境にやさしく、料理も美味しくできる「鍋帽子」を今後も積極的にPRしていければと思います。



8/2(土) シンポジウムでの展示

エコライフ分科会



奈良盆地から大阪平野を東西に流れ、177本の川が合流し堺市に至って大阪湾に流れ込む大和川は、桜井市初瀬を源流に、奈良県内では南からは飛鳥川、高田川、葛城川など、また北からは富雄川、佐保川などが大和川に合流しています。水質は昭和44年をピークに年々改善されてきました。平成23年に国の管理する1級河川の中で、過去10年間に水質が大幅に改善された河川の第1位に選定されましたが、全国的に見て未だ河川の汚れはワースト上位になっています。大和川に流れ込む支流の上流では蛍の生息も可能な清流ですが、下流部分では川の汚濁が目立っており、家庭からの生活排水が水質汚濁の主要な原因になっているようです。

エコライフ分科会では「きれいな水が豊かに流れる川・鳥や魚など多種多様な生き物を育む川・水とのふれあいを持てる川」を目標に啓発活動に取り組んでいきたいと考えています。その方策として

- ・アクリルたわしの普及による家庭排水の水質改善啓発活動
- ・河川美化清掃活動

などを展開するとともに、大和川支流の見学、大阪湾「成が島」視察などを実施し、水環境改善への意識向上に努めたいと考えています。

また、海のない奈良県で「第34回 豊かな海づくり大会」が11月に開催されるのを機に、豊かな自然の恵みを未来に引き継ぐため、健全な水環境の形成を目指し一層活動を活性化していきたいと考えています。
(市民生活協同組合ならコープ 堀井)



資源活用分科会

「くるくるプラザ」見学



資源活用分科会ではエコ見学会として、7月2日に大阪府吹田市資源リサイクルセンター「くるくるプラザ」に行きました。「くるくるプラザ」は市民、事業者、行政が一緒に、ごみの発生抑制と環境負荷の低減を再優先した循環型社会の形成を目的とした活動を実施している施設です。市民が12分別したごみのうち、燃焼ごみ以外の資源ごみなどを選別、リサイクルする破砕選別工場の上の4階、5階部分には市民リサイクル活動拠点が有ります。家具、布、自転車、リサイクル粘土



による陶芸等の市民工房は市民以外の人でも無料で利用出来ます。これらの工房で再生された自転車や家具は人気で、抽選のうえ市民が安価で購入できます。ごみとは別に市民が持ち込んだ衣類や食器を持ち帰る事もできます。また、市民研究員と呼ばれるボランティアの方が、テーマ毎に7つのプロジェクト・チームを作って様々な活動をされています。リユース食器ネットワークの拠点もあり、イベント等への貸出を行っています。奈良にも環境活動の拠点となる、総合的な施設があれば、と感じました。
(市民生活協同組合ならコープ 高良)

自然環境分科会

「第14回全国菜の花サミット in 神崎」の報告とお知らせ

「第14回全国菜の花サミット in 神崎 菜の花が世界を救う！」が千葉県香取郡神崎町で、2014年4月26日～27日、開催されました。記念講演は、「地域から私たちの未来を考える～エネルギーや経済から～」と題して、エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議代表理事の鈴木悌介氏の話でした。次に、「魅せます、語ります！！千葉北総のすべてを」と題して、事例報告がありました。全国各地からの活動報告が、リレートーク形式で行われました。この後、「わくわく西の城」に移動し、情報交換・第交流会「発酵の里の食文化と音楽、そして楽しい交流」が行われました。この場で、次回は、第15回の記念大会として、滋賀県東近江市において開催されること、さらに第16回は奈良県桜井市において開催されることが報告されました。

菜の花が世界を救う！
～地域から私たちの未来を考える～

第14回
全国菜の花サミット in 神崎

2014年4月26日～27日

神崎ふれあいプラザ文化ホール

4月28日(土)

記念講演会
事例報告
リレートーク
情報交換・大交流会

09:00～

参加費 4月27日(日)
研修費セミナー分科会

第14回全国菜の花サミット in 神崎実行委員会
発酵の里協議会 / 日本労働者協同組合(ワーカーズユニオン)連合会
一般社団法人 日本社会福祉機構 / 一般社団法人 日本ボランティア・ネットワーク

翌日は、3つの分科会(1. BDF 事業の普及と課題、2. 全国のなたね油集合、3. 発酵のまち神崎)が行われました。2. 全国のなたね油集合の分科会では、全国から集まったなたね油、奈良の「奈乃葉菜油」も含めて、展示され、各地のなたね油のテイスティングが行われました。



全国から集まったなたね油



なたね油のテイスティング

皆さん、2016年(平成28年)の「第16回全国菜の花サミット in やまと」は、奈良県桜井市で開催されます。ご協力のほどよろしくお願いいたします。